

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Dプロジェクト相模原物流センター	階数	地上5F
建設地	相模原市南区麻溝台1丁目760番7	構造	RC造
用途地域	工業専用	平均居住人員	700 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年6月 予定	評価の実施日	2012年3月12日
敷地面積	41,778 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社東京建築一般事務所
建築面積	22,177 m ²	確認日	2012年3月12日
延床面積	104,202 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

環境品質 Q

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値

建築物の取組み

上記+ 以外のオンサイト手法

上記+ オフサイト手法

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.3

機能性 耐用性・信頼性 対応性・更新性

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境 まちなみ・景観 地域性・アメニティ

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物の熱負荷 自然エネルギー 設備システム効率化 効率的運用

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

水資源保護 非再生材料の使用削減 汚染物質回避

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・構造躯体に免震構造を採用や非常用発電の設置など地震対策に配慮した。 ・構造躯体にPCを採用するなど耐久性の高い部材を極力採用し設備の更新などに配慮した。 ・実際の交通量調査をするなどトラックの台数を検討するなど周辺に対する環境へ配慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その他 ・当センターは物流センターの為、交通量の事前分析などを行い周辺環境への影響を評価した。また、大規模な建物の為、長寿命な構造体や外壁パネルを採用した。
Q1 室内環境 (倉庫の為、評価対象外)	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい